



第50回 インフォメーション・ミーティング 付属資料集

2026年5月27日(水)



山梨から豊かな未来をきりひらく

山梨中央銀行

東証プライム:8360



INDEX

付属資料

当行プロフィール	3
2026年3月期決算概況	4
自己資本比率の状況	7
資本配賦の状況	8
従業員数・店舗数の推移	9
業種別貸出金(ローンポートフォリオ)	10
規模別・地域別貸出金残高(未残)	11
リスク管理債権及び金融再生法開示債権	12
債務者区分の遷移	15
預金・貸出金シェアの状況(山梨県内)	16
有価証券ポートフォリオ	17
グループ会社一覧	19

山梨県の概要・経済

山梨県の概要	21
山梨県内の地場産業	23
最近の県内経済動向	24
山梨県経済の特性・構造	31
山梨県の県勢・経済指標	36

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

会社概要 (2026年3月末現在)

創業	1877年(明治10年)4月
創立	1941年(昭和16年)12月
本店所在地	甲府市丸の内1丁目20番8号
資本金	154億円
従業員数	1,667人
営業店舗数	本支店89 (うちインターネット支店 1) 出張所10 (うちライフスクエア8) (山梨 78、東京 19、神奈川 2)



本店

指定金融機関受託状況 山梨県、県内27市町村中23市町村

経営理念

「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

2026年3月期決算概況 ①

	24/3	25/3	26/3	24/3期－25/3期		25/3期－26/3期 (百万円、%)		
				増 減	増減率	増 減	増減率	
平 残	資金運用勘定	3,995,747	4,384,442	4,503,209	388,695	9.72	118,767	2.70
	うち貸出金	2,388,839	2,597,815	2,863,472	208,976	8.74	265,657	10.22
	有価証券	1,035,164	1,108,606	1,138,201	73,442	7.09	29,595	2.66
	コールローン	2,456	2,069	3,867	△ 387	△ 15.75	1,798	86.90
	預け金(除く無利息分)	548,250	655,696	486,964	107,446	19.59	△ 168,732	△ 25.73
	資金調達勘定	4,308,452	4,251,142	4,367,342	△ 57,310	△ 1.33	116,200	2.73
	うち預金等	3,630,182	3,653,859	3,798,732	23,677	0.65	144,873	3.96
	コールマネー	161,251	—	9,600	△ 161,251	△ 100.00	9,600	—
	(参考)金銭の信託	3,939	6,837	7,054	2,898	73.57	217	3.17

2026年3月期決算概況 ②

	24/3	25/3	26/3	24/3期－25/3期		25/3期－26/3期 (%)	
				増 減	増減率	増 減	増減率
資金運用利回り	0.78	0.84	1.15	0.06		0.31	
うち貸出金利回り	0.91	0.96	1.19	0.05		0.23	
有価証券利回り	0.82	0.88	1.32	0.06		0.44	
コールローン利回り	5.38	5.06	4.00	△ 0.32		△ 1.06	
預け金利回り	0.11	0.27	0.54	0.16		0.27	
資金調達利回り	0.01	0.07	0.23	0.06		0.16	
うち預金等利回り	0.00	0.06	0.21	0.06		0.15	
コールマネー利回り	△ 0.03	—	0.53	0.03		0.53	
借入金利回り	0.00	0.04	0.17	0.04		0.13	
経費率	0.68	0.70	0.72	0.02		0.02	
資金調達原価	0.58	0.67	0.86	0.09		0.19	
預貸金利回差	0.91	0.90	0.98	△ 0.01		0.08	
資金運用・調達利回差	0.77	0.77	0.92	0.00		0.15	
預貸金利鞘	0.22	0.19	0.25	△ 0.03		0.06	
総資金利鞘	0.20	0.17	0.29	△ 0.03		0.12	

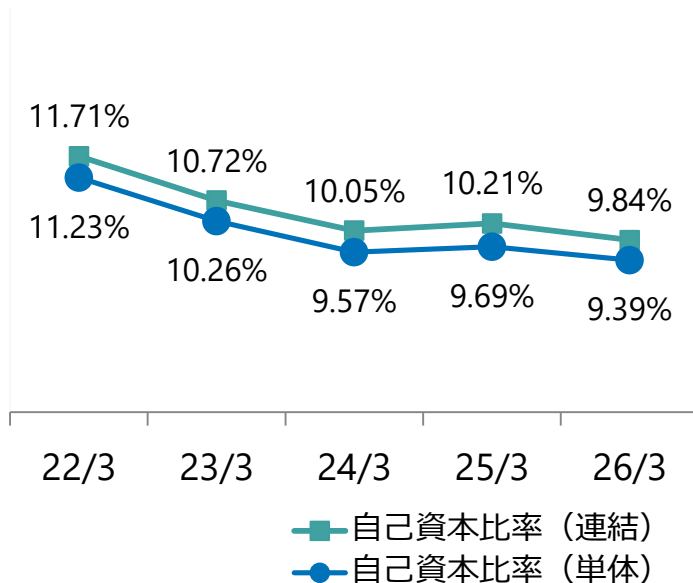
利
回
り
・
利
鞘

2026年3月期決算概況 ③

	24/3	25/3	26/3	24/3期 - 25/3期		25/3期 - 26/3期 (百万円、%)	
				増減	増減率	増減	増減率
資金利益	30,742	33,994	41,976	3,252	10.57	7,982	23.48
うち貸出金利息	21,755	25,149	34,161	3,394	15.60	9,012	35.83
有価証券利息	8,533	9,795	15,112	1,262	14.78	5,317	54.28
コールローン利息	132	104	154	△ 28	△ 21.21	50	48.07
預け金利息	638	1,772	2,653	1,134	177.74	881	49.71
役員取引等利益	7,712	7,238	6,552	△ 474	△ 6.14	△ 686	△ 9.47
その他業務利益	△ 10,888	△ 9,327	△ 20,166	1,561	14.33	△ 10,839	△ 116.21
うち国債等債券関係損益	△ 9,695	△ 8,495	△ 18,447	1,200	12.37	△ 9,952	△ 117.15
一般貸倒引当金繰入額	—	53	△ 63	53	—	△ 116	△ 218.86
経費	24,824	25,868	27,542	1,044	4.20	1,674	6.47
業務純益	2,742	5,983	883	3,241	118.19	△ 5,100	△ 85.24
修正業務純益	2,742	6,036	819	3,294	120.13	△ 5,217	△ 86.43
コア業務純益	12,438	14,531	19,267	2,093	16.82	4,736	32.59
除く投信解約損益	12,438	14,531	19,267	2,093	16.82	4,736	32.59
臨時損益	4,325	3,806	12,354	△ 519	△ 12.00	8,548	224.59
うち貸倒引当金戻入額	153	—	—	△ 153	△ 100.00	—	—
株式等関係損益	4,500	4,788	11,905	288	6.40	7,117	148.64
不良債権処理額	70	1,408	500	1,338	1,911.42	△ 908	△ 64.48
経常利益	7,067	9,785	13,221	2,718	38.46	3,436	35.11
特別損益	△ 67	△ 42	△ 19	25	37.31	23	54.76
法人税、住民税及び事業税	1,199	2,489	3,823	1,290	107.58	1,334	53.59
法人税等調整額	188	53	△ 435	△ 135	△ 71.80	△ 488	△ 920.75
当期純利益	5,611	7,199	9,813	1,588	28.30	2,614	36.31

自己資本比率の状況

自己資本比率の推移



自己資本額の内訳 (単体)

(億円)

	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3
自己資本額	1,800	1,821	1,839	1,864	1,926
リスク・アセット等	16,024	17,755	19,206	19,227	20,496

リスク・アセット等の算出方法

信用リスク	標準的手法
オペレーション・リスク	標準的計測手法

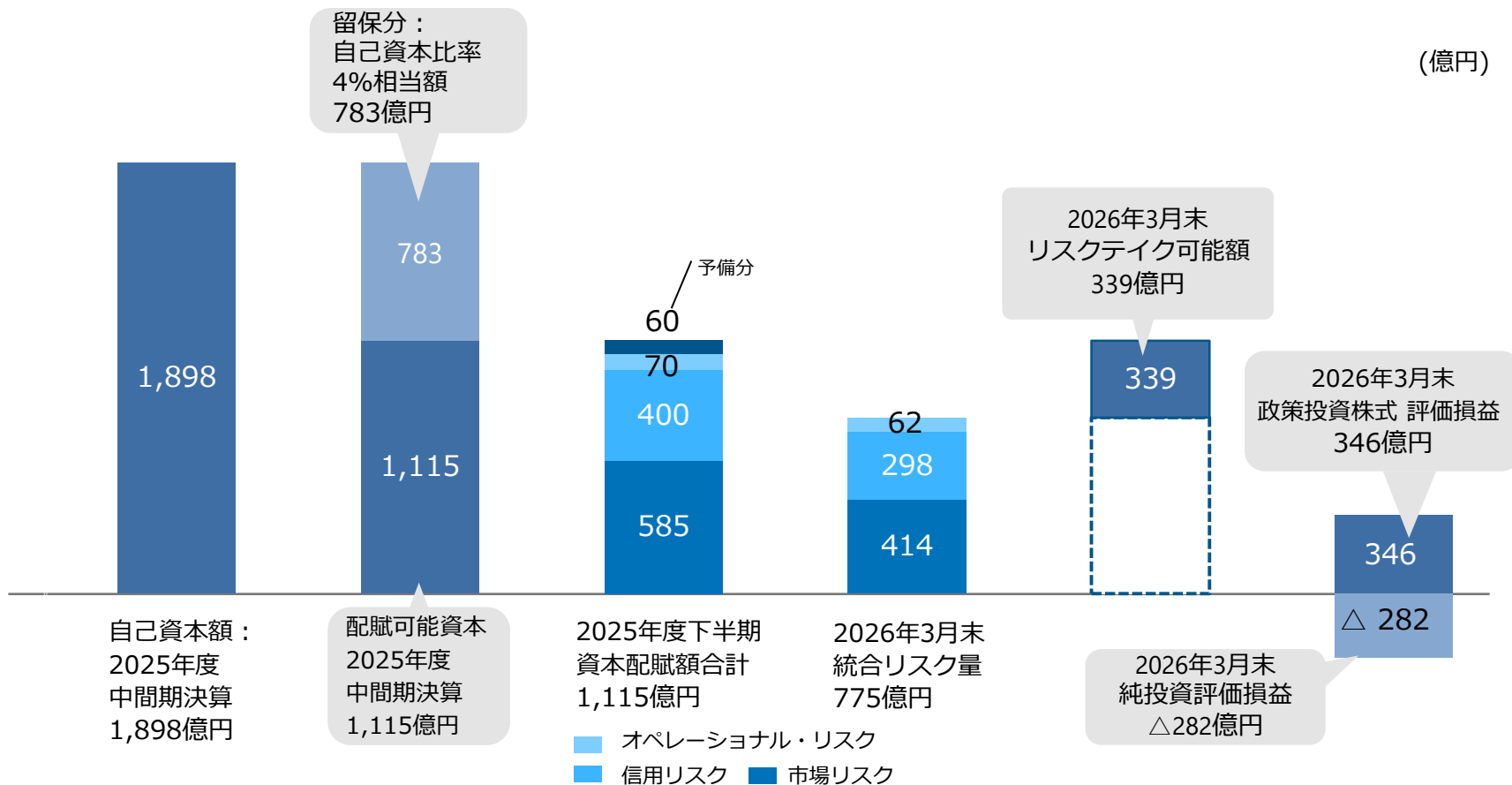
参考：銀行勘定の金利リスク(26/3期末)

金利リスク量	265億円
自己資本の額	1,926億円
銀行勘定の金利リスク(IRRB)	13.7%

* コア預金の算定に内部モデルを使用しております。

資本配賦の状況

(億円)



従業員数・店舗数の推移

(人、店、か所)

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3 16/3比 増減	
従業員数	1,677	1,685	1,737	1,726	1,681	1,660	1,655	1,639	1,609	1,634	1,667	△10
パートタイマー	678	711	714	686	689	677	680	686	702	728	752	74
店舗数 (含む出張所)	91	91	92	92	92	92	92	91	91	91	92	1
単独店	42	42	41	41	35	27	22	17	11	10	10	△32
エリア/フルバンキング店	21	21	21	21	22	25	24	26	27	27	27	6
エリア/機能特定店、非対面店	28	28	30	30	35	40	46	48	53	54	55	27
実質的な営業拠点数 (支店内支店を1とカウント)	90	90	87	86	82	78	78	77	73	72	72	△18
法人営業所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
ライフスクエア	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	△1
店舗外ATMコーナー数	133	135	141	142	144	138	119	110	86	77	73	△60

- ※1 機能特定店は、サテライト店・エリア特定店および非対面店(インターネット富士山支店・インターネット富士山支店甲府駅前出張所)の合計です。
- ※2 支店内支店は以下の通りです。中央市場支店(国母支店内)、住吉支店(南支店内)、千塚支店(湯村支店内)、春日居支店(石和支店内)、禾生支店(都留支店内)、東山梨支店(日下部支店内)、中道支店(城南支店内)、北新支店(武田通支店内)、竜ヶ丘支店(吉田支店内)、甲西支店(小笠原支店内)、高根支店(長坂支店内)、鯉沢支店(青柳支店内)、吉祥寺支店(荻窪支店内)、小金井支店(国分寺支店内)、流通センター支店(昭和支店内)、自治会館出張所(南支店内)、府中支店(国分寺支店内)、甲府駅前支店(本店営業部内)
- ※3 店舗外ATMコーナー数にはセブン銀行との共同ATMは含んでおりません。

業種別貸出金(ローンポートフォリオ)

	25/3		26/3		前期比増減	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
製造業	334,266	12.1%	396,947	13.1%	62,681	1.0P
農業、林業	7,037	0.3%	7,802	0.3%	765	0.0P
漁業	59	0.0%	29	0.0%	△ 30	0.0P
鉱業、採石業、砂利採取業	3,455	0.1%	3,098	0.1%	△ 357	0.0P
建設業	56,347	2.0%	56,066	1.9%	△ 281	△ 0.1P
電気・ガス・熱供給・水道業	55,283	2.0%	54,927	1.8%	△ 356	△ 0.2P
情報通信業	32,441	1.2%	31,211	1.0%	△ 1,230	△ 0.2P
運輸業、郵便業	163,107	5.9%	185,149	6.1%	22,042	0.2P
卸売業、小売業	175,191	6.3%	171,089	5.6%	△ 4,102	△ 0.7P
金融業、保険業	194,919	7.1%	216,491	7.1%	21,572	0.0P
不動産業、物品賃貸業	656,630	23.8%	721,417	23.8%	64,787	0.0P
不動産業	518,864	18.8%	564,748	18.6%	45,884	△ 0.2P
地方公社	17,973	0.7%	16,252	0.6%	△ 1,721	△ 0.1P
物品賃貸業	119,792	4.3%	140,417	4.6%	20,625	0.3P
その他サービス業	215,037	7.8%	220,043	7.3%	5,006	△ 0.5P
国・地方公共団体	338,624	12.3%	380,314	12.5%	41,690	0.2P
その他(個人)	527,664	19.1%	588,278	19.4%	60,614	0.3P
貸出金合計	2,760,066	100.0%	3,032,868	100.0%	272,802	0

(百万円)

規模別・地域別貸出金残高(未残)

(億円、%、ポイント)		全体			県内			県外			本部所管貸出			県内+本部所管貸出		
		25/3	26/3	前期比	25/3	26/3	前期比	25/3	26/3	前期比	25/3	26/3	前期比	25/3	26/3	前期比
国 地方公共団体	残高	3,386	3,802	416	3,118	3,546	428	9	7	△2	259	249	△10	3,377	3,795	418
	構成比	12.2%	12.5%	0.3%	26.7%	28.4%	1.7%	0.0%	0.0%	0%	12.0%	10.8%	△1.2%	24.4%	25.6%	1.2%
事業性	残高	18,936	20,641	1,705	4,932	5,103	171	12,112	13,486	1,374	1,891	2,051	160	6,823	7,155	332
	構成比	68.6%	68.0%	△0.6%	42.3%	40.9%	△1.4%	87.6%	86.6%	△1.0%	87.9%	89.0%	1.1%	49.4%	48.4%	△1.0%
大企業	残高	7,431	8,373	942	692	738	46	5,948	6,971	1,023	791	664	△127	1,483	1,402	△81
	構成比	26.9%	27.6%	0.7%	5.9%	5.9%	0.0%	43.0%	44.8%	1.8%	36.7%	28.8%	△7.9%	10.7%	9.4%	△1.3%
中堅企業	残高	275	306	31	57	69	12	218	235	17	-	2	2	57	71	14
	構成比	0.9%	1.0%	0.1%	0.4%	0.5%	0.1%	1.5%	1.5%	0%	-	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%
中小企業	残高	11,230	11,962	732	4,183	4,297	114	5,946	6,280	334	1,100	1,385	285	5,283	5,682	399
	構成比	40.6%	39.4%	△1.2%	35.9%	34.4%	△1.5%	43.0%	40.3%	△2.7%	51.1%	60.1%	9.0%	38.3%	38.4%	0.1%
非事業性 個人	残高	5,276	5,882	606	3,584	3,819	235	1,692	2,063	371	-	-	-	3,584	3,819	235
	構成比	19.1%	19.3%	0.2%	30.8%	30.6%	△0.2%	12.2%	13.2%	1.0%	-	-	-	25.9%	25.8%	△0.1%
合計	残高	27,600	30,328	2,728	11,635	12,468	833	13,814	15,558	1,744	2,151	2,302	151	13,786	14,770	984
	構成比	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-

リスク管理債権及び金融再生法開示債権①

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の開示

※当行では、部分直接償却を実施していません。

	25/3期末	26/3期末	前期比増減	26/3期末 連結	(億円)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	67	66	△ 1	68	
危険債権	124	122	△ 2	122	
要管理債権	60	53	△ 7	53	
三月以上延滞債権額	0	—	△ 0	—	
貸出条件緩和債権額	60	53	△ 7	53	
合計(A) (総与信残高に占める比率)	253 (0.91%)	242 (0.79%)	△ 11 (△0.12P)	244 (0.80%)	
保全額(B)	217	209	△ 7	211	
保全率 (B)÷(A)	85.65%	86.46%	+0.81P	86.46%	

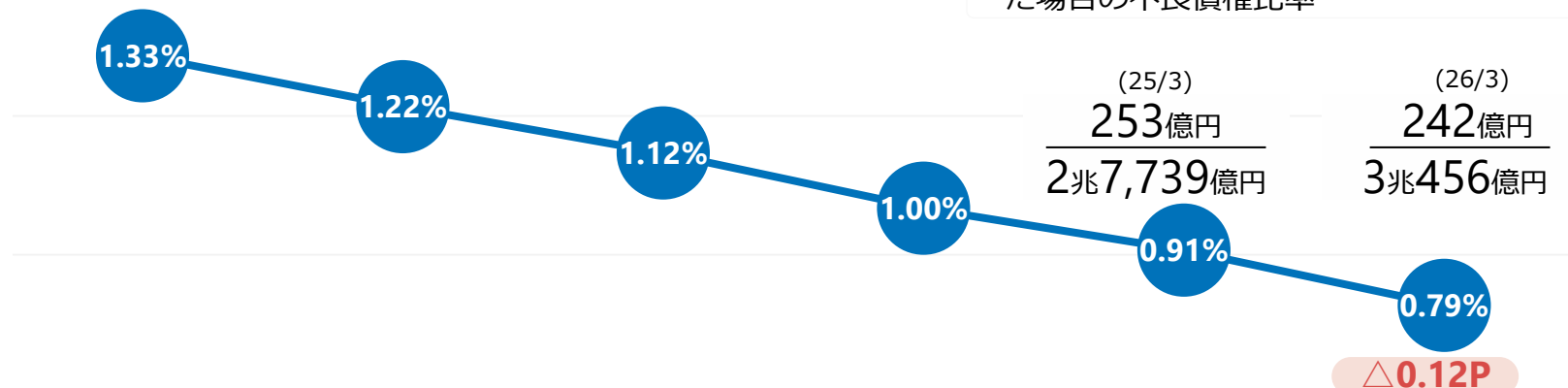
※部分直接償却を実施した場合の不良債権額(単体)は、以下のとおりとなります。

	26/3期末 部分直接償却前①	26/3期末 部分直接償却後②	増減 ② - ①
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	66	44	△ 21
危険債権	122	122	0
要管理債権	53	53	0
三月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	53	53	0
合計 (総与信残高に占める比率)	242 (0.79%)	220 (0.72%)	△ 21 (△0.07P)

リスク管理債権及び金融再生法開示債権②

リスク管理債権及び金融再生法開示債権額・比率推移

■ 破産更生等債権 ■ 危険債権 ■ 要管理債権



不良債権比率

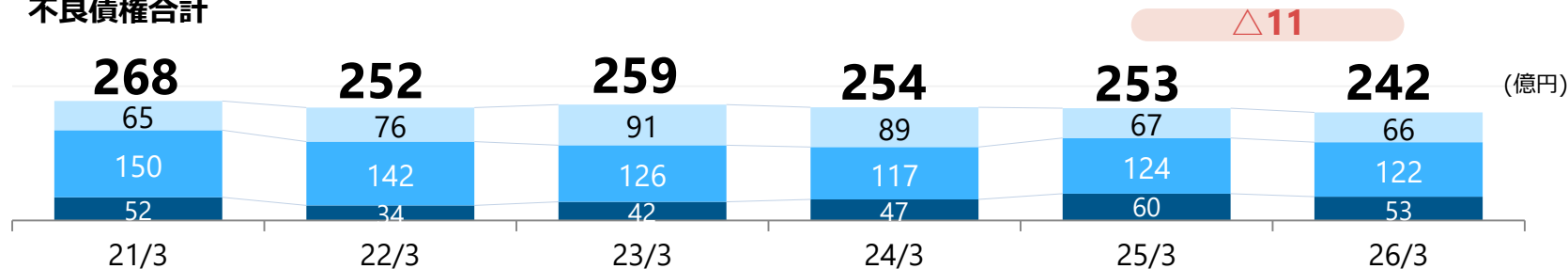
部分直接償却を実施した
場合の不良債権比率

0.72%

(25/3)
253億円
2兆7,739億円

(26/3)
242億円
3兆456億円

不良債権合計



リスク管理債権及び金融再生法開示債権③

リスク管理債権及び金融再生法開示債権の保全状況



債務者区分の遷移

総与信残高ベース
(25/3期末→26/3期末)

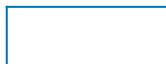
26/3期末

(億円)

		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先	破綻懸念先 以下への 劣化比率
新規	-	2,474	7	-	0	0	-	
正常先	26,417	26,647	105	7	10	3	1	0.06%
その他 要注意先	996	35	849	19	9	3	0	1.40%
要管理先	74	-	24	49	0	0	-	0.51%
破綻懸念先	124	0	3	-	101	3	0	
実質破綻先	40	-	-	-	0	30	0	
破綻先	27	-	-	-	-	-	22	
合計	27,681	29,157	990	76	122	42	24	



下方遷移



上方遷移

* 金融再生法開示債権ベースで記載。

(残高は、貸出金・支払承諾・外国為替・与信関係仮払金・未収利息を含めた総与信残高ベース。
ただし、国・地方公共団体の残高および自己査定非抽出先は「正常先」に含めて記載。)

預金・貸出金シェアの状況(山梨県内)

1. 預金シェア

(%、ポイント)

	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	前期比
当行	51.2	51.5	51.7	51.7	52.8	1.1
大手行	6.6	6.6	6.8	7.1	7.3	0.2
信金・信組	27.1	27.0	26.6	26.5	25.6	△ 0.9
JA	12.9	12.9	12.8	12.6	12.2	△ 0.4
政府系ほか	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0

※ゆうちょ銀行を除く

2. 貸出金シェア

(%、ポイント)

	22/3	23/3	24/3	25/3	26/3	前期比
当行	49.0	49.9	50.4	51.5	52.7	1.2
大手行	7.3	7.1	7.0	6.8	6.8	0.0
信金・信組	31.2	30.2	29.3	28.3	27.4	△ 0.9
JA	6.5	7.1	7.5	7.7	7.5	△ 0.2
その他	5.8	5.6	5.5	5.4	5.3	△ 0.1

有価証券ポートフォリオ①

<時価評価前残高の推移>

(億円、%、ポイント)

	23/3期		24/3期		25/3期		26/3期		前年同月比増減	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
国債	1,561	14.2	1,449	14.5	3,262	29.0	4,721	41.0	1,459	12.0
地方債	3,274	29.8	2,841	28.3	2,533	22.5	1,257	10.9	△ 1,276	△ 11.6
社債	1,400	12.7	1,408	14.0	1,365	12.1	2,042	17.7	677	5.6
株式	252	2.3	241	2.4	242	2.2	203	1.8	△ 39	△ 0.4
政策投資株式	200	1.8	196	2.0	161	1.5	157	1.4	△ 4	△ 0.1
純投資株式	51	0.5	44	0.4	80	0.7	46	0.4	△ 34	△ 0.3
投資信託等	4,111	37.4	4,066	40.5	3,584	31.9	2,733	23.7	△ 851	△ 8.2
外貨建債券	397	3.6	26	0.3	258	2.3	559	4.9	301	2.6
合計	10,998	100.0	10,033	100.0	11,245	100.0	11,518	100.0	273	0

<有価証券利息の推移>

(百万円、%、ポイント)

	23/3期		24/3期		25/3期		26/3期		前年同月比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
円建債券	3,495	27.8	2,075	24.3	2,641	27.0	5,026	33.3	2,385	6.3
株式	1,160	9.2	1,105	13.0	1,476	15.1	2,085	13.8	609	△ 1.3
投資信託等	5,554	44.2	5,188	60.8	5,514	56.3	6,734	44.5	1,220	△ 11.8
外貨建債券	2,358	18.8	164	1.9	162	1.6	1,265	8.4	1,103	6.8
合計	12,568	100.0	8,533	100.0	9,795	100.0	15,112	100.0	5,317	

有価証券ポートフォリオ②

<利回りの推移>

	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	前年同月比 増減 (P)
円 建 債 券	0.46	0.36	0.38	0.63	0.25
株 式	4.37	4.43	5.71	8.83	3.12
投 資 信 託 等	1.43	1.19	1.39	2.29	0.90
外 国 証 券	1.81	1.65	2.72	3.65	0.93
合 計	0.96	0.82	0.88	1.32	0.44

<売買損益の推移>

(百万円)

	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	前年同月比 増減
国 債 等 債 券 損 益	△ 9,157	△ 9,695	△ 8,495	△ 18,447	△ 9,952
国債等債券売却益	6,108	2,588	880	2,538	1,658
国債等債券売却損	15,265	8,679	5,234	16,798	11,564
国債等債券償却	-	-	0	-	0
国債等債券償還益	-	-	-	1	1
国債等債券償還損	-	3,604	4,140	4,189	49
株 式 等 関 係 損 益	6,172	4,500	4,788	11,905	7,117
株式等売却益	6,306	5,471	5,101	13,376	8,275
株式等売却損	120	938	302	1,469	1,167
株式等償却	13	31	10	1	△ 9
合 計	△ 2,984	△ 5,195	△ 3,706	△ 6,542	△ 2,836

※ 上記の株式等関係損益には、投資事業組合出資の損益、金銭信託損益を含みます

<評価損益の推移>

(億円)

	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	前年同月比 増減
円 建 債 券	△ 121	△ 151	△ 363	△ 436	△ 73
株 式	276	443	428	492	64
うち政策投資株式	272	395	287	346	59
投 資 信 託 等	△ 196	△ 135	△ 113	12	125
外 国 証 券	△ 28	0	2	△ 5	△ 7
合 計	△ 69	156	△ 46	63	109
アセットスワップ考慮後	△ 69	156	△ 42	127	169

(百万円)

<投資信託解約益・解約損の推移>

	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	前年同月比 増減
投資信託解約益	1,695	839	644	1,121	477
投資信託解約損	1,106	4,444	4,785	5,310	525
合 計	589	△ 3,604	△ 4,140	△ 4,189	△ 49

<債券修正デュレーションの推移>

	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	前年同月比 増減
円 建 債 券	6.7	5.9	5.4	5.0	△ 0.4
アセットスワップ考慮後	6.7	5.9	4.9	3.9	△ 1.0
外 貨 建 債 券	6.4	2.2	6.1	3.3	△ 2.8

グループ会社一覧

(百万円、26/3期末)

会社名	山梨中央保証(株)	山梨中銀リース(株)	山梨中銀 ティｰｼｰｶｰﾄﾞ(株)	山梨中銀 経営コンサルティング(株)	やまなし未来 インベストメント(株)	やまなし地域 デザイン(株)
設立年月日	1986年7月1日	1987年4月6日	1991年7月2日	1996年8月2日	2023年12月1日	2025年4月1日
資本金 (当行出資比率) (グループ出資比率)	20 (100.00%) (100.00%)	20 (100.00%) (100.00%)	20 (49.00%) (90.00%)	100 (45.00%) (87.50%)	50 (100.00%) (100.00%)	100 (100.00%) (100.00%)
事業内容	信用保証業務等	リース業務等	クレジットカード 業務等	総合コンサルティング業務、 ベンチャーキャピタル等	投資助言業務等	観光価値創造業務、 脱炭素関連業務、 広告宣伝・マーケティング業務等
営業収益	731	6,708	706	249	103	22
営業利益	569	386	47	51	51	△15
経常利益	654	381	57	48	51	△15
当期純利益	436	242	37	21	33	△10
総資産	10,994	22,985	4,991	1,900	154	193
純資産	7,168	4,720	2,024	1,483	137	189
借入金残高 (うち、当行からの借入金残高)	— (—)	17,326 (15,230)	230 (230)	— (—)	— (—)	— (—)

山梨県の概要・経済

山梨県の概要

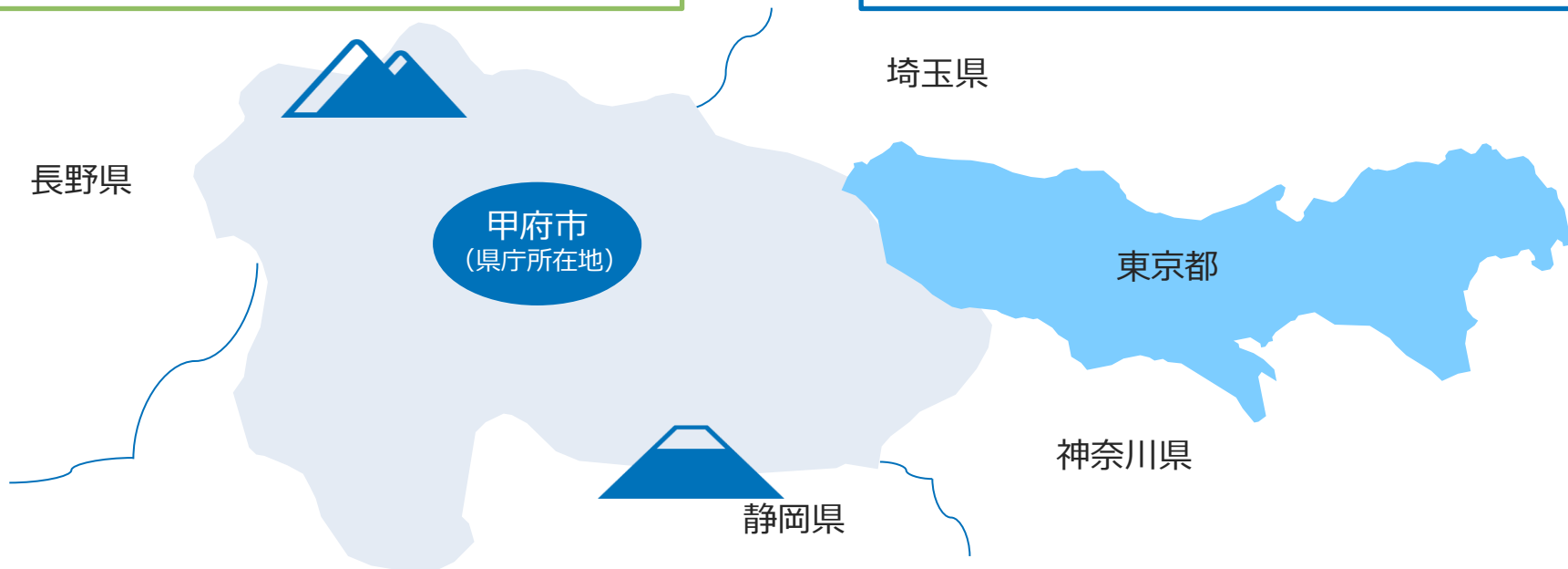
山梨県は日本列島の中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれ、海の無い内陸県

特徴

- ・東京に隣接しアクセス良好
- ・県土の約78%を森林が占め、富士山、八ヶ岳、南アルプスなど自然豊かな観光資源に恵まれている

産業

- ・代表的な宝飾産業は約1100年の歴史を持つ
- ・機械・電子産業の企業が集積し、クラスターを形成
- ・モモ・ブドウなどの生産量が日本一



リニア中央新幹線の開通および高速道路網の拡充による地域経済活性化への期待

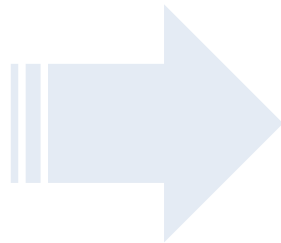
高速交通網の拡充

- 中部横断自動車道の全線開通
- 中央自動車道の改善
- リニア中央新幹線の開通



所要時間

品川-甲府	25分
品川-名古屋	40分
品川-大阪	67分



期待される効果

- 二拠点居住、移住に伴う定住人口の増加
- ビジネス拠点の進出による地域経済の活性化
- 高速交通網の拡充に伴う物流施設・商業施設の新設



山梨県内の地場産業



山梨のワイン

- ・日本ワイン製成数量全国1位(※)
- ・国内ワイナリー数全国1位



絹織物



日本酒

「山梨」日本酒表示指定(国税庁)



ニット



ミネラルウォーター

出荷額全国1位



印伝



果物

ブドウ・もも・すもも収穫量全国1位



和紙



貴金属・宝石製装身具製品

製造業事業所数全国1位

(※) 日本ワイン：国産ブドウのみを原料とし、日本国内で製造された果実酒

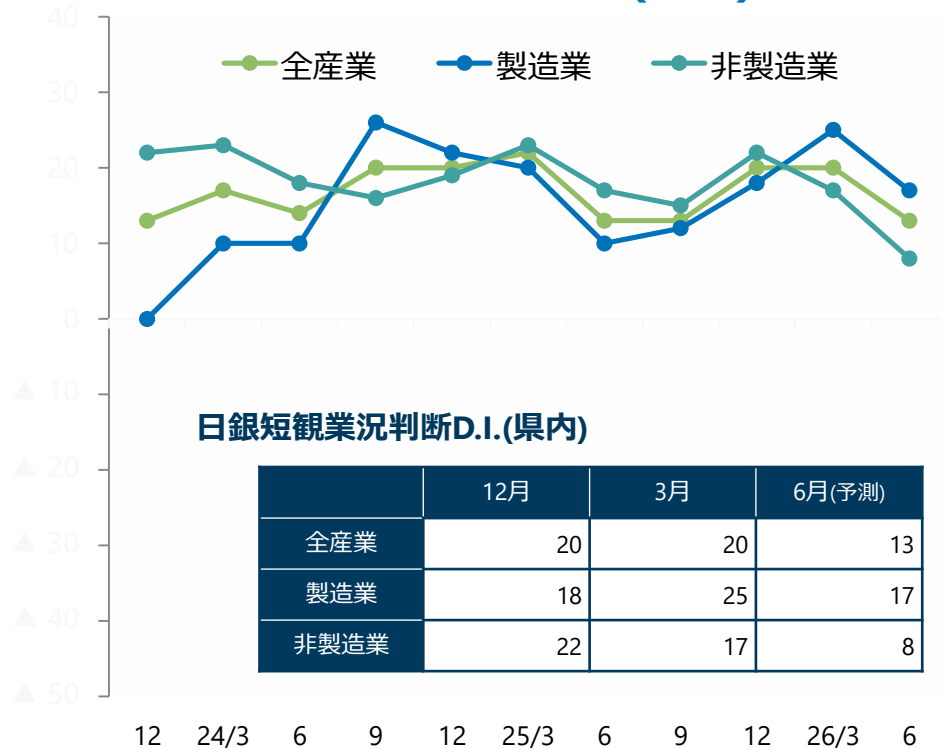
最近の県内経済動向①

概況

山梨県の景気は、横ばい圏で推移しているが、一部に持ち直しの兆しがうかがわれる。生産面においては、機械工業が持ち直している。需要面においては、設備投資で一部に慎重姿勢がうかがわれるほか、個人消費も盛り上がりを欠いている。

日銀短観業況D.I.をみると、製造業の景況感が改善している一方、非製造業は悪化している。先行きについて、製造業、非製造業ともに悪化を見込んでいる。

日銀短観業況判断D.I.(県内)



日銀短観業況判断D.I.(県内)

	12月	3月	6月(予測)
全産業	20	20	13
製造業	18	25	17
非製造業	22	17	8

出所：「日本銀行甲府支店」

最近の県内経済動向②

【需要動向】

衣料品の一部に堅調さもみられたが、消費者が節約意識を強める中で、食料品や日用品、家電品など幅広い品目で弱含むなど、全体としては盛り上がりを欠いている。

設備投資は、機械設備や研究開発投資で動きがみられる一方、建設投資は資材価格の上昇などを背景に慎重姿勢が続いている。

①個人消費

・ 大型小売店売上

物価上昇により消費マインドが低下しており、足元では弱含んでいる。

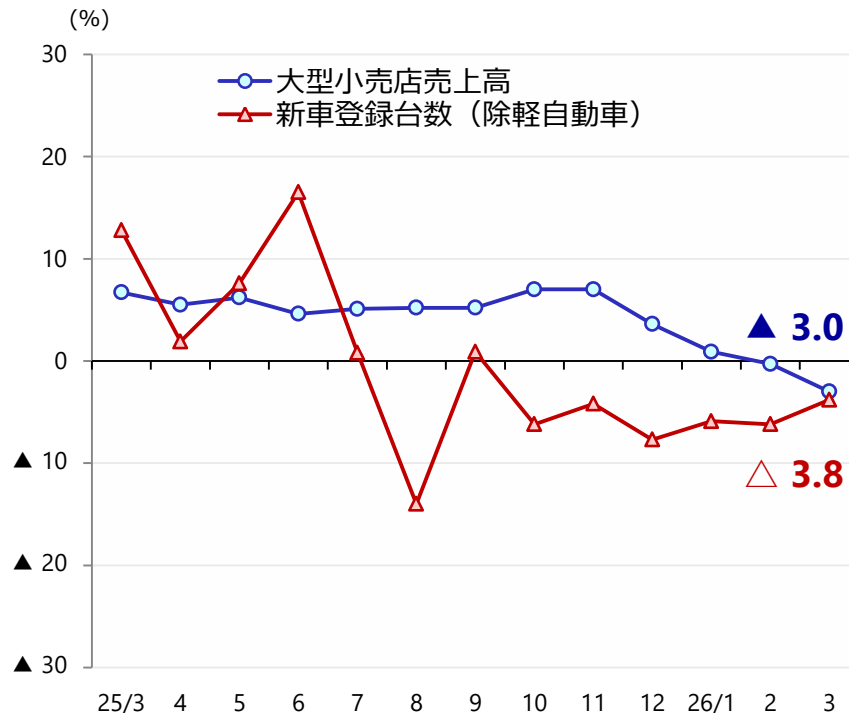
・ 新車登録台数

車両価格の上昇などから前年を下回る水準で推移している。

・ 観光・レジャー

日中関係の緊迫化に伴い、中国からのツアー客が減少しているものの、他国の外国人観光客や国内客は堅調で、全体としては前年を上回る入込みで推移している。

需要動向①（前年比増減率）



出所：「経済産業省」、「日本自動車販売協会連合会」

最近の県内経済動向③

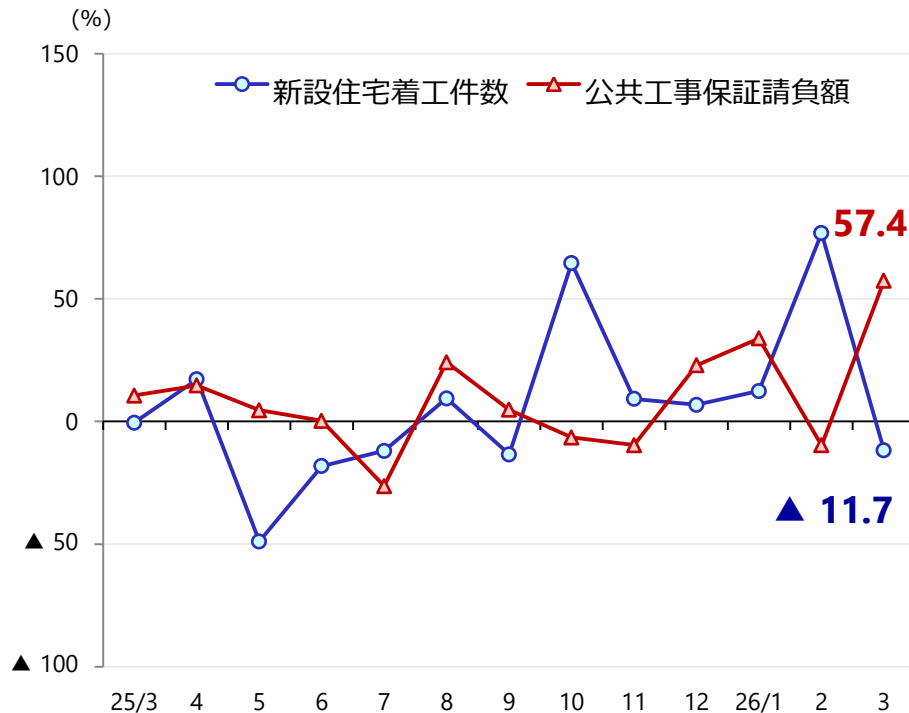
② 住宅建設

新設住宅着工件数は、貸家の着工件数が増加する中、前年を上回る水準で推移している。

③ 公共工事

周期的な増減を繰り返す中、総体では堅調に推移している。

需要動向②（前年比増減率）



出所：「国土交通省」、「東日本建設業保証(株)」

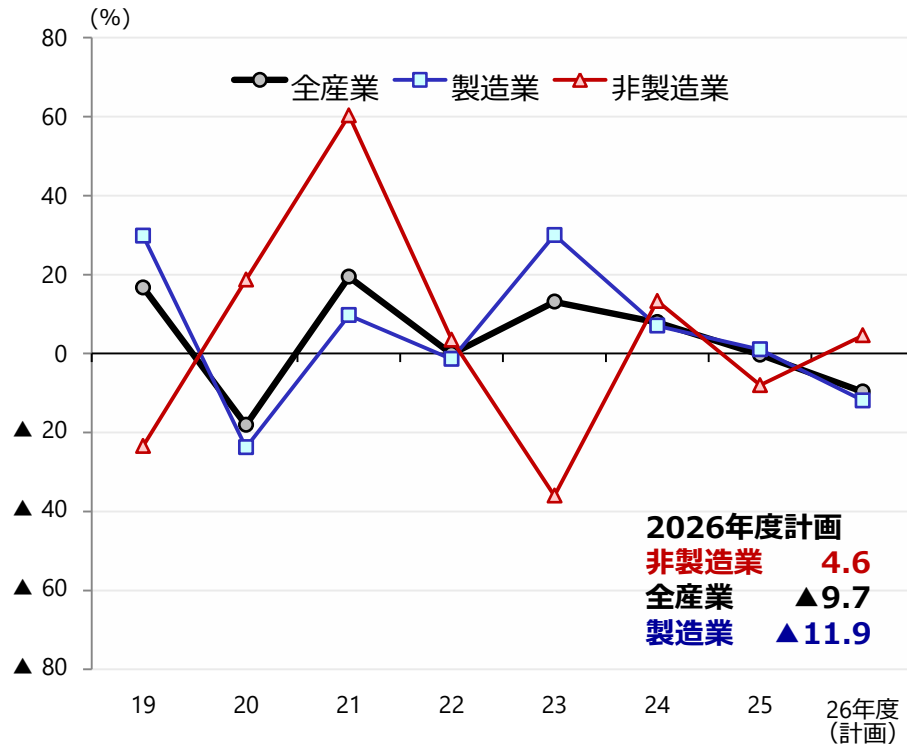
最近の県内経済動向④

④ 設備投資

設備投資は、建築価格の上昇等を受け、一部に慎重姿勢がうかがわれる。

なお、日銀短観（3月調査）によると、2026年度は製造業が前年度を下回る一方、非製造業は前年度を上回る計画となっている。

県内設備投資動向（日銀短観）（前年度比増減率）



2026年度計画
非製造業 ▲4.6
全産業 ▲9.7
製造業 ▲11.9

出所：「日本銀行甲府支店」

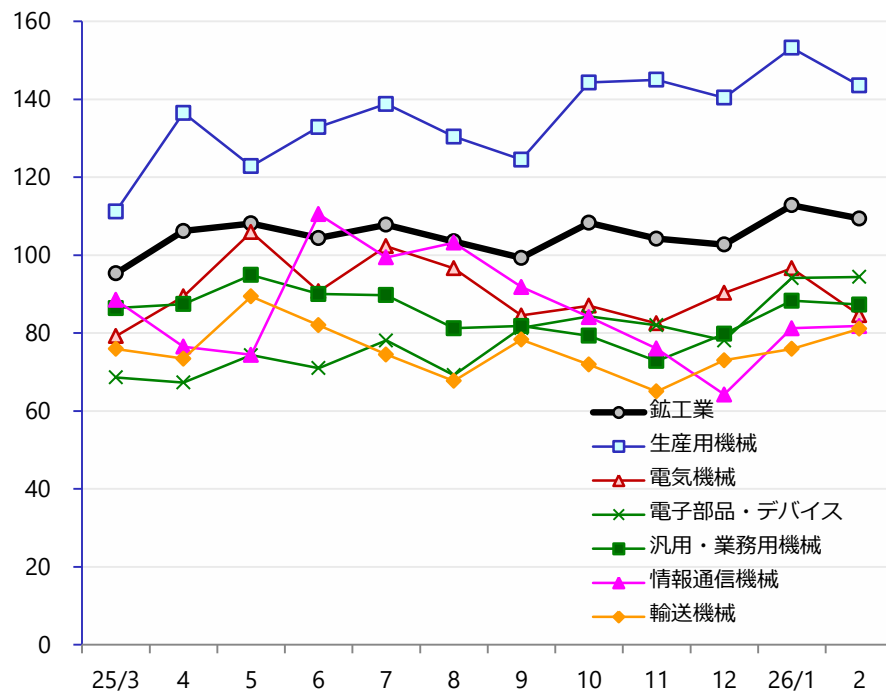
最近の県内経済動向⑤

【生産活動】

機械工業は、半導体製造装置や生成AI関連が好調を維持する中で、他の品目でも改善傾向がうかがわれるなど、総じて持ち直している。

なお、中東情勢の影響で原油価格の高騰や部品・部材の調達難などが危惧されており、先行きの不透明感が急速に高まっている。

鋳工業生産指数（季調済、2020年=100）



出所：「県統計調査課」

最近の県内経済動向⑥

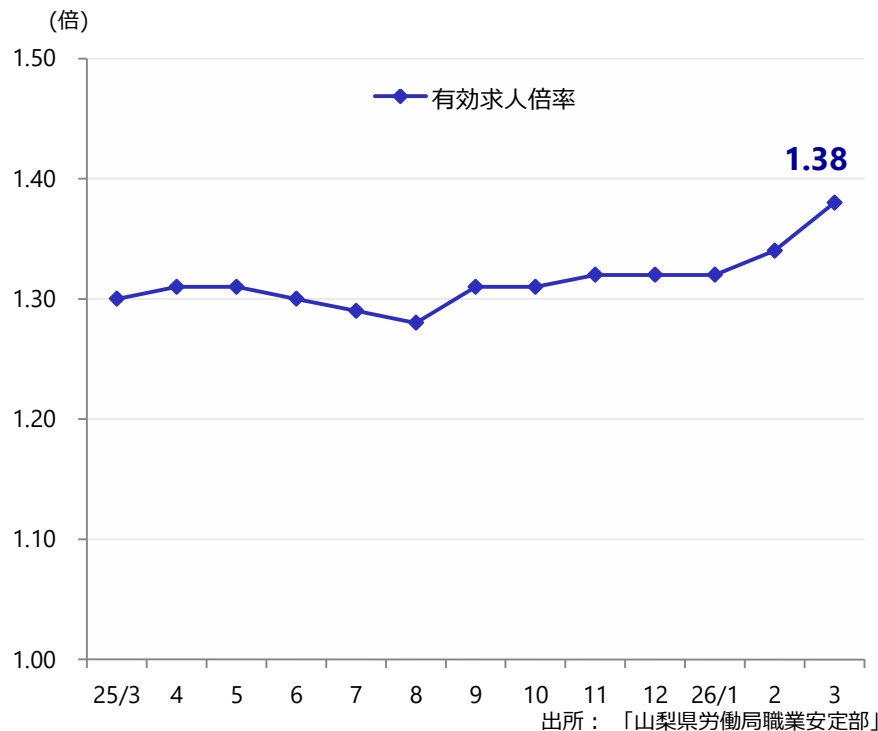
【雇用情勢】

有効求人倍率は、業種によりばらつきはあるものの、総体では堅調に推移している。

	山梨県	全国
有効求人倍率（3月）	1.38倍	1.18倍

「厚生労働省」

雇用情勢



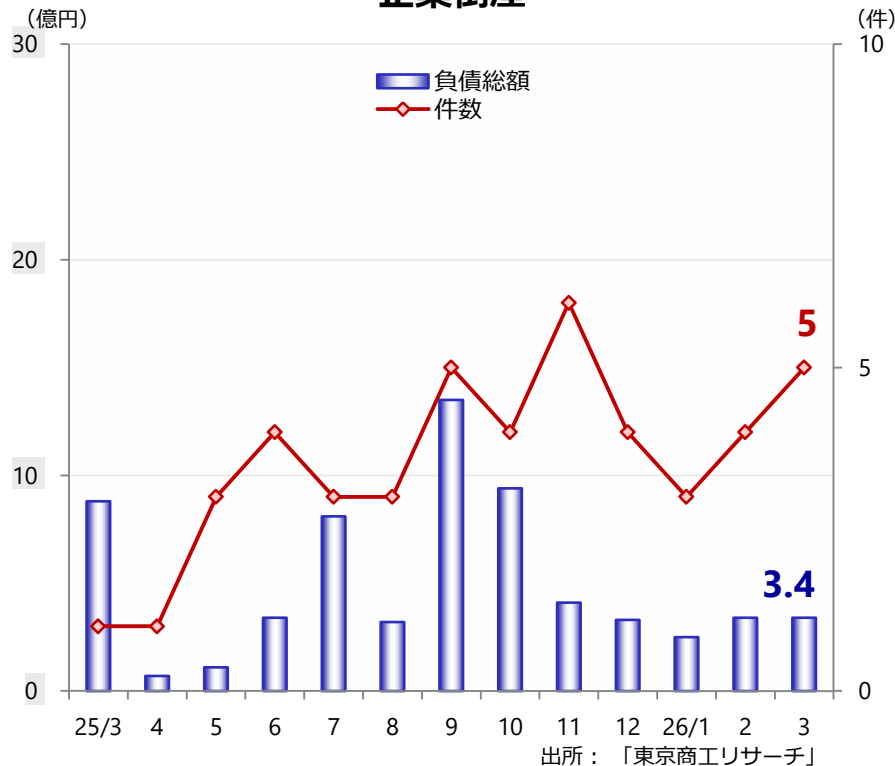
最近の県内経済動向⑦

【企業倒産】

2025年度下半期（25年10月～26年3月）の県内企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数が26件で負債総額が26億10百万円となった。

件数は前年同期比7件（36.8%）の増加、負債総額は同28億55百万円（52.2%）の減少となった。

企業倒産

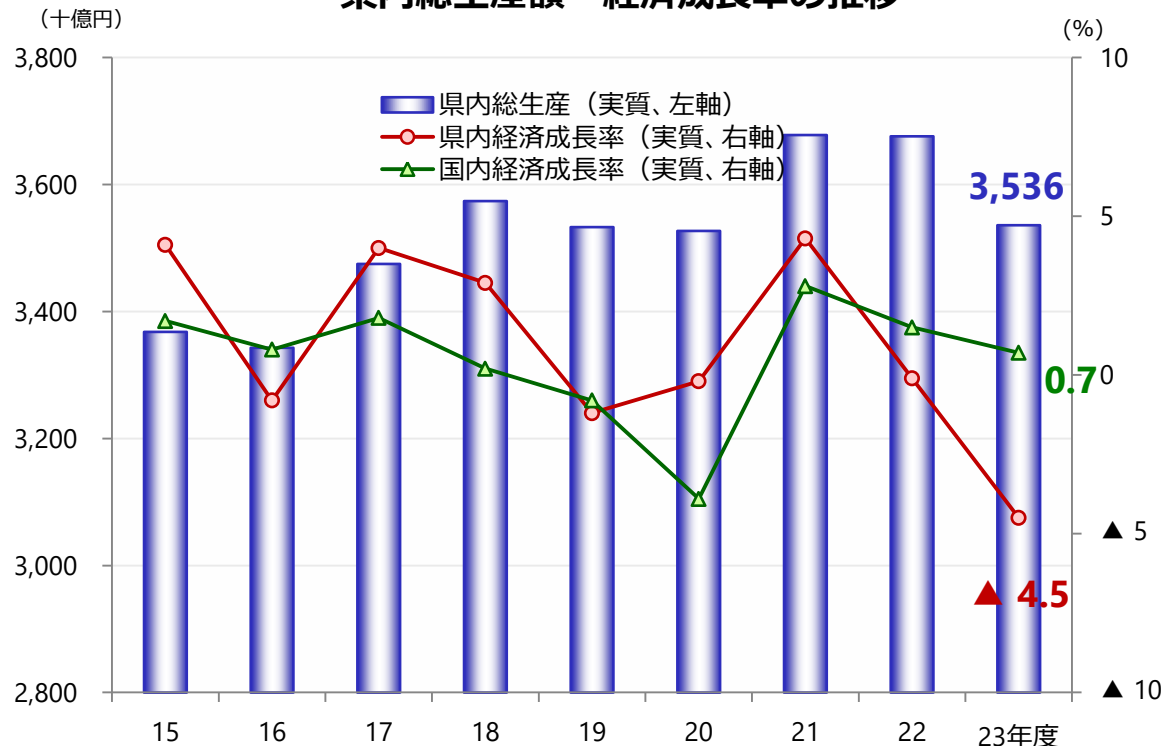


山梨県経済の特性・構造①

【山梨県経済の特性】

県内経済の実質成長率は、近年増減を繰り返していたが、直近では大きく前年度を下回った。

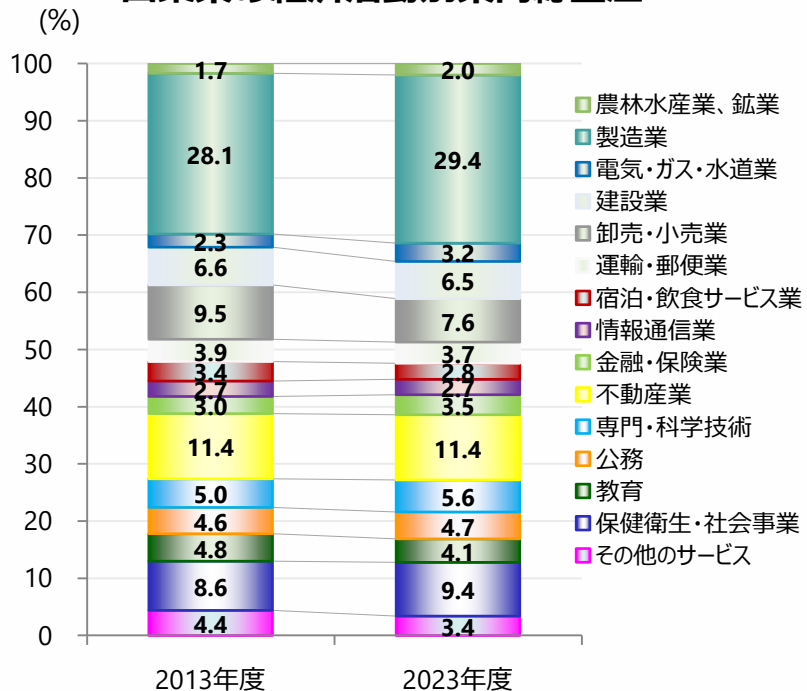
県内総生産額・経済成長率の推移



出所：「内閣府 国民経済計算年報」、「山梨県 県民経済計算年報」

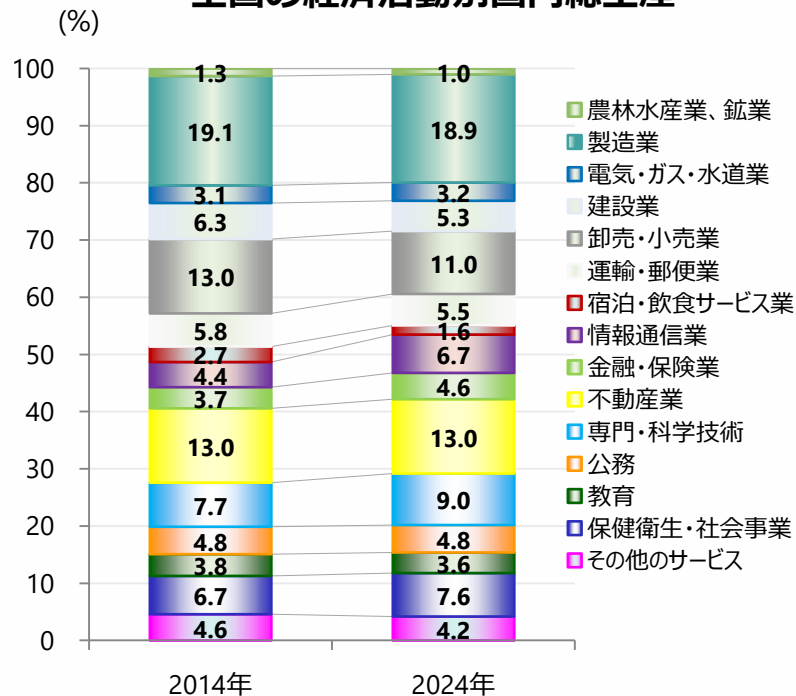
山梨県経済の特性・構造②

山梨県の経済活動別県内総生産



出所：「山梨県 県民経済計算年報」

全国の経済活動別国内総生産

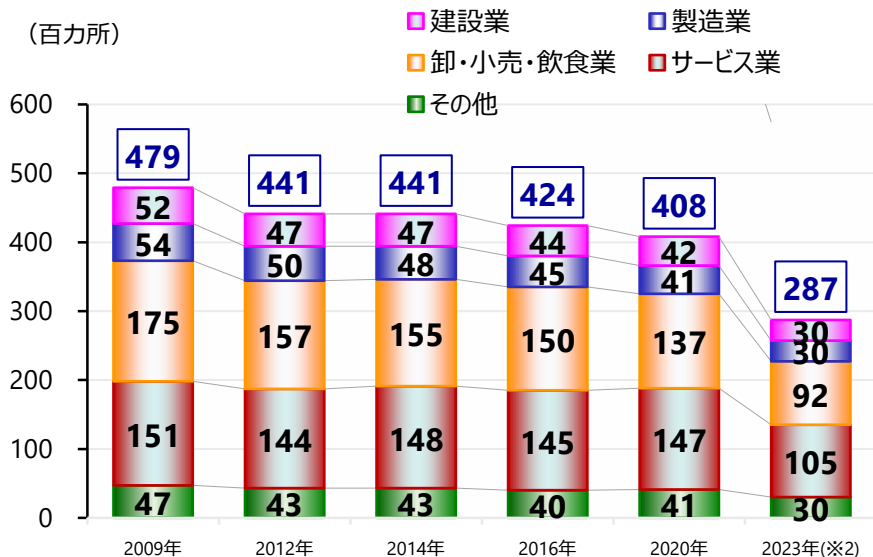


出所：「内閣府 国民経済計算年報」

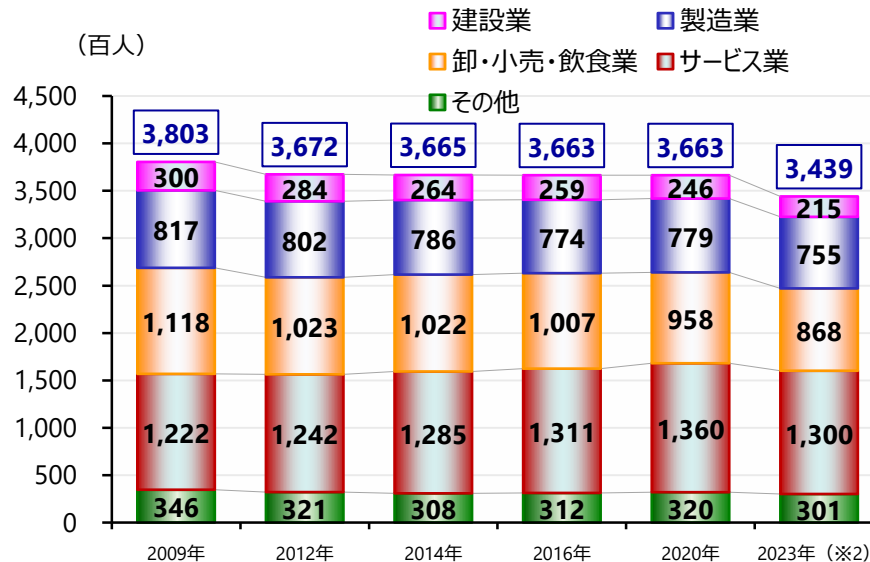
○ 産業別構成比を全国と比較すると、製造業のウェイトが高い

山梨県経済の特性・構造③

県内産業別事業所数の推移（民営事業所※1）



県内産業別従業者数の推移（民営事業所）



【事業所数・従業者数】

出所：「経済産業省 経済センサス」

出所：「経済産業省 経済センサス」

- 事業所数は、地場産業の減少や小売業の減少などを要因に、1986年をピークに減少傾向。
- 従業者数は、生産効率の向上や事業所数の減少に伴う正社員の減少などを背景に、1996年をピークに減少傾向であったが、近年は横ばい圏で推移している。

※1 民営事業所とは、国および地方公共団体の事業者所を除く事業所をいう。

※2 2023年以降は「経済センサス」の事業所の調査対象が変更（雇用者のいない個人事業主を除外）となっており、2020年までのデータとの連続性はない

山梨県経済の特性・構造④

【製造品出荷額等の推移】

- 山梨県の工業構造は、1982年の中央自動車道全線開通と相前後して機械工業の集積が急速に拡大し、現在では製造品出荷額等の約6割を占める。

<製造品出荷額等>

- 1982年：1兆834億円
→ 2023年：2兆7,194億円（151.0%増）

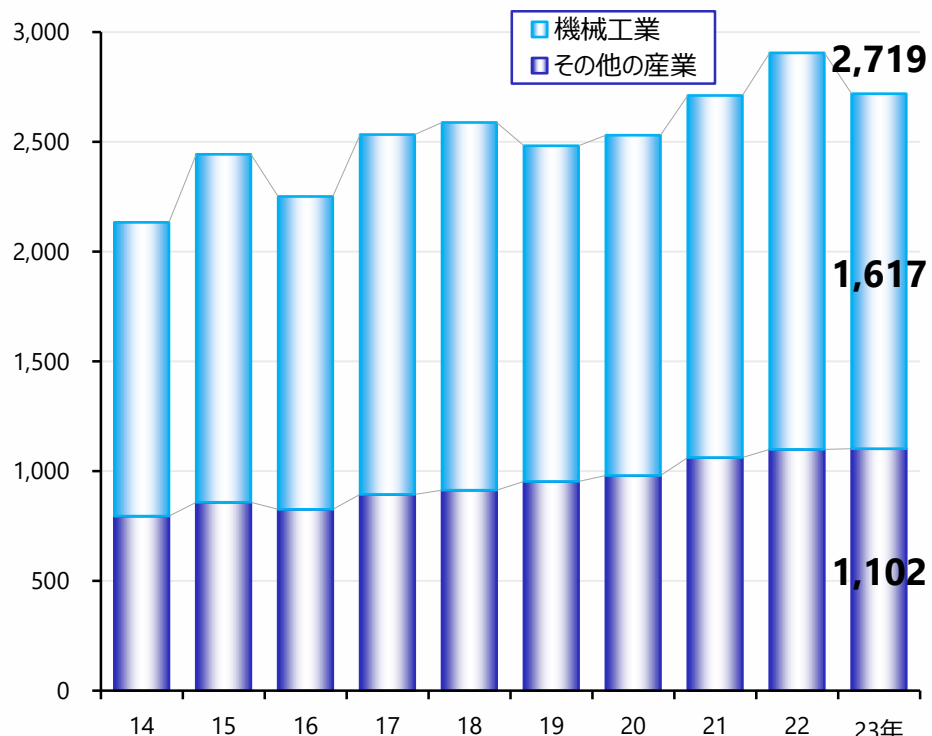
<全体に占める機械工業の割合>

- 製造品出荷額等に占める機械工業の割合は59.5%(2023年)であり、全国の同割合45.7%と比較して高い。

山梨県の製造品出荷額等の順位とリーディング産業の変遷

	全国順位	リーディング産業
1950年	40位	繊維
1970年	40位	繊維
1990年	33位	電気機械
2010年	33位	生産用機械
2011年	33位	電気機械
2015年	33位	生産用機械

県内製造品出荷額等の推移



出所：「山梨県 工業統計調査結果」、「経済産業省 経済センサス」、「経済構造実態調査」

山梨県経済の特性・構造⑤

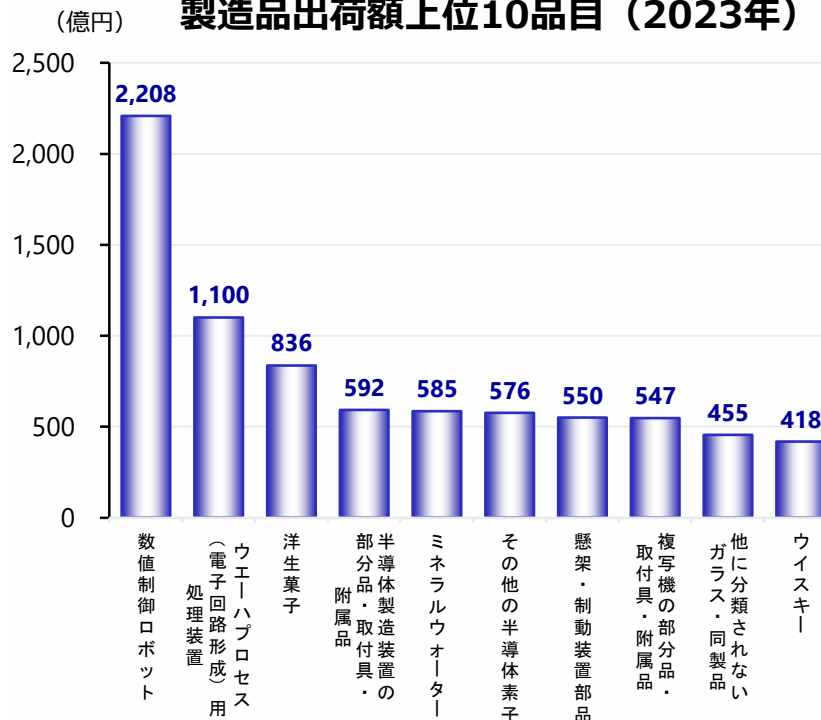
- 数値制御ロボットなど生産用機械のウエイトが高く、情報通信機器向けの各種デバイス等、最先端のIT関連産業が集積している。
- 洋生菓子やミネラルウォーターなど食料品も上位品目にランクイン。
- 中小企業の技術水準も着実に上昇。ニッチマーケットながら国内・世界市場で高シェアを獲得する企業も存在。

全国上位の生産品目（2023年実績）

品目	出荷額	全国シェア	順位
数値制御ロボット	2,208億円	74.3%	1位
ミネラルウォーター	585億円	31.9%	1位
巻上機	312億円	37.7%	1位

出所：「2024年 経済構造実態調査」

製造品出荷額上位10品目（2023年）



出所：「2024年 経済構造実態調査」

山梨県の県勢・経済指標

経済力基本指標				産業関連指標				生活関連指標			
項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位
総面積	2026年	4,465km ²	32	民営事業所数	2023年	28,658か所	42	家計実収入 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	2025年	525,930円	45
可住地面積比率	24年	21.3%	44	製造品出荷額等	23年	27,194億円	34				
自然公園面積比率	24年	27.1%	8	同従業員1人当たり	23年	37,409千円	25	消費支出 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	25年	319,035円	35
総人口	24年	791千人	41	年間商品販売額	20年	17,434億円	43				
世帯数	25年	377千世帯	41	同売場面積1m ² 当たり	20年	1,689千円	36	平均消費性向 (勤労者世帯)	25年	74.2%	2
年少人口比率	24年	10.8%	29	農業産出額	24年	1,298億円	29	自家用車保有台数 (軽自動車含む・人口千人当たり)	25年	703台	3
生産年齢人口比率	24年	57.2%	20	生産農業所得率	24年	37.5%	25	公立図書館数 (人口1万人当たり)	25年	0.61か所	1
老年人口比率	24年	32.0%	24	新設住宅着工戸数	25年	3,872戸	39	コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)	24年	56.5店	2
人口増加率	24年	△0.63%	13	新設住宅1戸当たり 床面積	25年	94.8m ²	6	住宅地平均価格 (基準地価・1m ² 当たり)	25年	23,100円	41
県内総生産額(実質)	22年度	36,759億円	40	公共工事請負契約額	25年	1,825億円	42	持家比率	23年	68.6%	20
経済成長率(実質)	22年度	△0.1%	42	建築着工物床面積	25年	581,750m ²	41	教育費割合 (勤労者世帯対消費支出)	25年	3.4%	38
1人当たり県民所得	22年度	3,362千円	8	有効求人倍率	25年	1.30倍	13	大学等進学率	25年	62.3%	12

○ 総人口全国41位、県内総生産40位など、規模的には下位に位置するが、従業者1人当たりの製造品出荷額など、単位当たりの比率で見ると中位にランク。経済活動、生活水準等は比較的良好な水準にあるといえる。